

トラック奈良

2

トラック協会は事故防止・交通安全、
環境及び災害時緊急輸送対策に取り組んでいます。

[令和2年]2020

No.310



東大寺 二月堂



三月堂



四月堂

公益社団法人 奈良県トラック協会

<http://narata.or.jp>

三輪明神 大神神社 にてご祈禱	1
2020 公明党 奈良県本部新春年賀会	2
交通安全講習会	4
トラック運送事業は安全が最優先	5
Gマーク【新規】認定先インタビュー	6
奈ト協の「運輸安全検討会」が掲載されました	9

■ 全ト協から

軽油価格調査集計表(2019年11月)	10
---------------------	----

■ 近畿交通共済から

近畿交通共済からのお知らせ	11
---------------	----

■ 奈良運輸支局から

奈良運輸支局からのお知らせ	12
---------------	----

■ 奈ト協から

2月・3月の行事(予定)表	13
KIT事業の案内	14
適正化事業・巡回指導報告書	15
トラックの構造上の特性	16
事業用自動車事故事例No.54	17

■ 陸災防から

災害事例とその対策	18
-----------	----

■ 奈良県警察本部から

奈良県警察本部からのお知らせ	19
自動車条例	20
小学生からのお礼状(五條市)	巻末

三輪明神 大神神社 にてご祈禱

日：令和2年1月14日(火)

場所：三輪明神 大神神社（奈良県桜井市）

会長、副会長が大神神社に参拝し、会員の「輸送の安全」をご祈禱しました。



2020 公明党 奈良県本部新春年賀会

日時：令和2年1月15日(水) 午後3時～

場所：ホテル日航奈良 ～奈良市三条本町～

公明党奈良県本部「新春年賀会」に塚本哲夫会長、中秀夫副会長が出席しました。



▲写真中央は公明党代表 山口 那津男 参議院議員





▲浮島智子衆議院議員



▲山本かなえ参議院議員



▲写真右から二人目 熊野せいし参議院議員 大国正博代表 山中益敏幹事長 亀甲義明幹事会会長 各県議会議員

令和元年度 交通安全講習会

～子どもを交通事故からいかに守るか～

日時：令和元年12月2日(月) 午前10時30分～

場所：奈良県交通安全教育センター

主催：(公社) 奈良県トラック協会、奈良県交通安全母の会連合会



▲中秀夫副会長



「子どもを交通事故からいかに守るか」をテーマに、交通心理学の専門家である帝塚山大学の蓮花一己学長が講演会を開催し、奈良県交通安全母の会連合会の指導者ら約100人が参加しました。この講演会は、交通安全は家庭からという考えから、母の会連合会の母親活動指導者への研修会として開催されたもので、当日は協会の交通安全対策担当の中秀夫副会長の挨拶の後、講演会が始まりました。

蓮花学長は「年齢別の事故率は、小学1年生（7歳）が最も多く、その多くが日中に発生している。また、幼児（6歳以下）の類型別歩行者事故は、駐停車車両の陰からの横断・飛び出し、子ども（7歳から15歳）は渋滞車両からの横断、遊戯中が最も多いため、実践的教育として、子どもを駐停車車両の陰に立たせて、子どもと保護者に見せることや、子どもに道路をゆっくり歩いて横断する練習、左右確認の練習をさせ、親への教育（歩き方、手つなぎ、携帯等）も行う。親や教師が自ら良き手本となり、幼児にはまずしつけ、そして小学生への準備、小学生には交通の危険を正しく理解させる、中学生には自分の行動に気づくように仕向けることが重要となる。」と講義し、ドイツでは、子どもへの交通教育マニュアルは、親が説明、手本を示し、一緒に行動した後、ひとりで道路横断等させ、観察、間違いを直し、繰り返すと説明しました。

トラック運送事業は安全が最優先

吉岡運送株式会社

(本社・天理市永原町)

吉岡運送株式会社（代表取締役 吉岡幹自）では、数人単位で適宜安全講習を実施。毎日点呼時にドライバーの顔を見て健康状態をチェックするほか、全ドライバーが年2回の健康診断を受診。雨の日はスピードを控えて、横断歩道の手前や巻き込みなど安全確認をより注意。雪の時はなるべく大きい道を走るよう指導しています。リネンや化学製品の輸送が多く、リネン関係はホテルへの納入なのであまり時間

あせらず
余裕のある運転で
事故減

に追われることがない。各ドライバーへは「あせらずゆっくり余裕のある運転を心掛けよう」と説いています。余裕のある運転が事故減少につながると吉岡社長。



▲地域安全マップで事故多発地点などを説明する吉岡社長



2019度

Gマーク(安全性優良事業所)【新規】認定先インタビュー

新規取得

株式会社いわれ

本社営業所

天理市永原町688番地の1



～交差点やカーブは減速してゆっくり曲がる～

外部講習も交えて2ヶ月に1回の安全講習でドライバーの意識を高める。新入社員にはクレフィール湖東での3日間研修を義務化。主に木材を運ぶ同社では大型のトレーラーが主体。交差点やカーブでは、できるだけ減速してゆっくり曲がるよう指導。車間距離をとり、信号を予測して止まることを心掛けてもらっていると高田社長。事故事例について分析し、原因をつかんで、安全対策に生かすとのこと。健康診断の結果、要再検査のドライバーには診断書をもってきてもらう。点呼時には顔色チェックはもちろん、毎週月曜日には社長自ら、全ドライバーに声をかけながら「事故とケガのないよう」願い、健康にも気を配っている。(代表取締役 高田潤)

有限会社土具配送

天理営業所

天理市兵庫町95-3



～車間距離と眠くなったら休憩を意識～

長く宅配の会社をやっていたが、12年ほど前にトラック輸送に切り替え、野菜や薬などを運んでいる。深夜・早朝勤務があるため、健康診断は全ドライバーが年2回実施。要再検査の場合はかかりつけ医への受診を促す。安全講習は近畿交通共済から来てもらうなど外部講師を年3回要請している。協会の指導もあって2年ほど前にはGマーク取得の準備がほぼ整っていた。Gマーク取得により全ドライバーへ今まで以上に気をつけて、車間距離をとることや、眠くなったら車を止めて休憩をとるよう指導。また横断歩道は歩行者優先を心掛ける。(代表取締役 土具勇)

株式会社エースコーポレーション
奈良営業所
大和郡山市馬司町39番1



～ドラレコで危険運転をチェック～

一昨年の申請で、人手不足による点呼の不備と健康診断の時期の認識が不十分で、認証に至らず、足りないところを修正して昨年、再度チャレンジ。同社は大手食品会社の食品を主に4t車で配送。24時間稼働しているため勤務時間や配車、シフトの調整、点呼スタッフの確保が大変と貞所長。荷主が大手なので積載に関してはオーバーすることなく安心だが、全車に搭載したドライブレコーダーやデジタルタコグラフでスピードや急発進、急停止などをチェック。危険な運転の場合はドライバーに理由を確認することで安全な運転を促す。月1回の安全講習ではトラックの特性などを指導。食品を扱っているため、身なりやトラックも清潔を心掛ける。深夜勤務の人は年2回、昼勤務の人は年1回の健康診断をし、要再検査の場合は受診を勧める。

(所長 貞雄二)

有限会社異運輸
本社営業所
天理市東井戸堂町412-10



～日頃の業務の延長線上にGマーク～

昨年4月から準備を始めて、7月に申請。Gマークにむけて特に新規に取組むというより、日頃の活動をより慎重に積み重ねてきた。月1回の安全講習は積荷によって6～7人単位のグループに分けて実施。取引先とのミーティングも欠かさない。乗務前の点検は徹底しており、乗務前には各ドライバーが実施。社長も自ら月1回は、エアやオイル、水漏れなど全車両をチェック。ドライバーの平均年齢は50才を超えるので健康診断のフォローにも気を配る。

(代表取締役 異 富美男)

有限会社生駒運送
生駒運送
奈良市西九条町3丁目2番地22



～時間にゆとりをもって出発～

巡回指導の評価が良く協会の声に推される形で申請。医療機器や精密機器、パソコン、サーバーなどを配送しており、スピードと荷崩れ防止には気を使う。医療機器は手術当日の朝、県内の病院に届けるので時間に遅れないようゆとりをもって出発。回収も当日に行うが、廃棄物の仕分けに手間取ると前田専務。パワーゲートの操作では転倒防止を特に注意して作業。大手の委託を受けての配送のため、毎月1回、各業者を交えて安全講習を受けている。社内でのミーティングは3か月に1回、飲酒運転やながら運転のほか、横断歩道での一時停止は特に注意し、交通弱者への思いやり運転を呼びかけている。

(専務取締役 前田祐吉)

株式会社KTLogistics
本社営業所
葛城市太田121番地



～安全靴やヘルメットを着用し、車内は整頓～

昨年4月にグリーン経営の認証を受け、その流れでGマークも申請、スムーズにできたと小林社長。毎月の安全ミーティングはグループで他社の事故事例の原因を分析し、自社に照らして安全対策を再検討。制服、安全靴、ヘルメットの着用は徹底させ、車内の整頓や荷崩れに対しての抜き打ちチェックも実施し、書面に記録を残している。深夜の勤務もあり、健康診断は全ドライバー年2回。要再検査の場合、個々に面談し、過去には乗務停止にしたこともあったと会長。年に1回は、近くの社会教育センターに全員集まり、ディーラーや保険会社の外部講師を招いて、みっちり安全講習をする。講習の後はボーリング大会や食事で社内のコミュニケーションにも気を配る。

(代表取締役 小林健太、取締役会長 小林政信)

奈ト協の「運輸安全検討会」が掲載されました

物流ニッポン 2020年1月14日付12面

死亡事故ワースト打開へ

検討会設置
マップ配布
防止対策、更に強化

奈ト協

【奈良】奈良県トラック協会（塚本哲夫会長）は、事業用トラックが第1当事者となる死亡事故データで奈良県が全国ワーストとなったことを受け、運輸安全検討会（蓮花二己座長、帝塚山大学学長）の設置やドライバーアンケートの実施など、新たな施策を講じて交通事故防止対策の強化を図っている。

2018年の1万台当たりの死亡事故データ（車籍別）では、奈良県が7・8件となり、全国平均の1・9件を大幅に超える全国ワーストを記録。ワースト2位の高知（5・9件）、ワースト3位の栃木（3・8件）と比べても際立って多く、憂慮すべき状況に陥った。

死亡事故件数の推移は、15年5件（死者数5人）、16年2件（3人）、17年2件（2人）、18年3件（9人）と18年が突出して急増している。

奈ト協では、事態の打開に向けて事故防止対策の更なる強化に着手。これまで8月に運輸安全検討会を新設した点とともに、トラックドライバーアンケート、事故防止セミナー、新聞広告による県民へのアピールを行ってきた。

運輸安全検討会のメンバーには、学識者から蓮花帝塚山大学学長、中井宏・大阪大学大学院人間科学研究所准教授を迎え、塚本会長、中秀夫副会長、中西啓交通安全対策委員長、運行管理者の丸屋憲一氏（富士運輸）の6人で構成している。

初会合は19年8月30日に開き、会員、県民への周知内容、ドライバーアンケート映像に見る交通安全対策D



課題を精査する検討会のメンバー（19年8月）

り、奈良県がワーストとなった事態を説明し、事故原因で多数を占める交差点や追突による事故へ注意を喚起している。

地域安全マップでは、左折時、追突、横断歩行者との事故が多い交差点を表す。市町村別多発交差点、高齢歩行者の交通事故パターンをイラストで分かりやすくするなど工夫を凝らした。マップは、会員に送付しており、2月1日に開催する物流セミナーでも来場者に配布する。

ドライバーアンケートの結果については、一般ドライバー、歩行者、自転車に対する意見を収集。一般ドライバーでは「割り込み・いきなりの車線変更はしないで欲しい」（22・9％）

「交通マナーを守って欲しい」（21・1％）が上位を占めた。

歩行者に対しては、「横断歩道を渡って欲しい」（29・0％）「信号無視をしないで欲しい」（18・3％）、自転車では「マナーを守って欲しい」（27・4％）ながら運転をやめて欲しい」（14・1％）が多かった。

アンケート結果は、地元地方紙と12月号の広報誌「トラック奈良」に掲載し、県民や会員に理解を促した。

中林利光専務は「死亡事故の急増は何か原因があるはず。事故状況を一件ずつ精査し、対策を考え、できることから取り組んでいる。ドライバーの命を守るのが最優先。事故防止対策に万全は無い。たとえ事故

が減ったとしても気を抜かず、輸送の安全確保に向けて引き続き対策を講じていく」と話している。

（渡辺弘雄）

軽油価格調査集計表(2019年11月)

令和元年12月25日現在
(公社)全日本トラック協会

2019年11月

単純集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
	103.54	94.79	101.10

2019年11月

元売別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

元売名	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
J X T G エネルギー	101.17	94.37	102.55
出光	106.50	96.64	99.28
昭和シェル	119.50	94.20	99.37
エクソンモービル			
キグナス		93.50	
コスモ	99.35	93.60	103.70
その他	101.94	95.26	99.96

2019年11月

月間購入量別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

月間購入量	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30キロリットル未満	102.61	95.07	101.78
30～50キロリットル未満	106.51	94.10	96.01
50～100キロリットル未満	106.00	94.65	99.10
100キロリットル以上			

2019年11月

支払期限別集計表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

支払期限	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
30日未満	107.06	93.76	101.34
30～60日未満	101.78	94.79	100.27
60日以上		99.67	113.83

軽油価格推移表

地区：近畿／県（沖縄除）：全県

	スタンド平均	ローリー平均	カード平均
2019年7月	103.35	95.36	102.44
2019年8月	103.53	93.10	100.44
2019年9月	103.05	93.11	99.92
2019年10月	99.62	93.36	99.41
2019年11月	103.54	94.79	101.10

※消費税抜きの価格となります。

近畿交通共済からのお知らせ

自賠責共済掛金が改定されます。

ー 営業用普通貨物車(2t超)は 22%引下げ ー

令和2年1月22日に政府の自賠責保険審議会が開催され、令和2年4月1日以降に始期となる共済契約に適用する自賠責共済掛金の改定が行われることとなりました。今回の改定では、全車種の平均で16.4%の引き下げとなります。新しい掛金による契約は令和2年2月1日から引受け可能となります。

主な共済掛金の改定内容は以下のとおりです。

主な自賠責共済掛金の改定内容(12カ月契約)

車 種	現行共済掛金	改定共済掛金	改 定 額	改 定 率
営業用普通貨物車(2t 超)	39,540 円	30,530 円	△9,010 円	△22.8%
営業用普通貨物車(2t 以下)	27,900 円	21,970 円	△5,930 円	△21.3%
営業用小型貨物車	24,290 円	19,310 円	△4,980 円	△20.5%
軽自動車	15,130 円	13,210 円	△1,920 円	△12.7%
自家用乗用自動車	15,520 円	13,410 円	△2,110 円	△13.6%

当組合の自賠責共済をご利用ください。

自動車共済 下期新規契約推進キャンペーン実施中

令和元年10月1日～2年3月31日

当組合では、昨年10月から今年3月までの6か月間を新規契約推進キャンペーン期間に設定し、勧誘活動をすすめております。当組合の自動車共済契約をご検討願います。

キャンペーンの内容

①新規契約獲得台数および自動車共済掛金の多い上位5地域を表彰します。

自動車共済・自賠責共済はぜひ近畿共済でご契約を

近畿共済は、組合員のみなさまと一体となって事故防止に努力しています
ご契約のお問い合わせ・お申し込みは、奈良事務所 0743—59—1701まで

奈良運輸支局からのお知らせ

毎年3月末は、決算期や自動車税の賦課期日の終期等による影響を受け、自動車の検査・登録の各種申請が、窓口に集中します。

この時期は、申請者の皆さま方には長時間お待ちいただくなど大変ご迷惑をおかけすることとなります。

このような状況を緩和するため、自動車の移転登録（名義変更）や抹消登録（廃車）等の各種手続き及び検査につきましては、できるだけ早期に済まされるようお願いします。

登録及び検査関係の案内につきましては、ヘルプデスク「050-5540-2063」（音声又はFAXサービス）により24時間行っています。

また、近畿運輸局ホームページ「<http://www.tb.mlit.go.jp/kinki/>」で、各種手続き案内を掲載していますのでご利用ください。

近畿運輸局奈良運輸支局

（内容の問い合わせ先）

近畿運輸局奈良運輸支局登録部門 衣川

TEL：050-5540-2063

（ガイダンスが流れましたら、

037をプッシュしてください。）

FAX：0743-23-0020

トラック協会・陸災防奈良県支部

2月の行事(予定)表

日	曜	時 間	行 事	場 所
1	土	13:50～	第35回物流セミナー	かしはら万葉ホール
5	水	13:30～	令和元年度中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナー	奈良県トラック会館
7	金	10:30～	優良事業所表彰式及び優秀運転者顕章伝達式	奈良県トラック会館
8	土	9:00～	運行管理者試験対策講習会	奈良県トラック会館
12	水	13:30～	人材確保及び労務管理対策セミナー	奈良県トラック会館
19	水	12:00～	第4回総務委員会	奈良県トラック会館
27	木	12:00～	第274回理事会	奈良県トラック会館
28	金	9:00～	運行管理者試験対策講習会	奈良県トラック会館

3月の行事(予定)表

日	曜	時 間	行 事	場 所
1	日	13:00～	令和元年度第2回運行管理者試験	奈良春日野国際フォーラム
10	火	10:00～	第34回奈良県適正化事業実施機関評議委員会	奈良県トラック会館
14	土	9:00～	フォークリフト運転技能講習会【学科】	奈良県トラック会館
17	火	10:30～	第3回適正化実施対策委員会	奈良県トラック会館
21	土	8:30～	フォークリフト運転技能講習会【実技2日間】	奈良県トラック会館
22	日	8:30～	フォークリフト運転技能講習会【実技4日間】	奈良県トラック会館
24	火	10:00～	第10回トラック輸送における取引環境・労働時間改善協議会	奈良県トラック会館
28	土	8:30～	フォークリフト運転技能講習会【実技4日間】	奈良県トラック会館
29	日	8:30～	フォークリフト運転技能講習会【実技4日間】	奈良県トラック会館



K I T 事業の案内

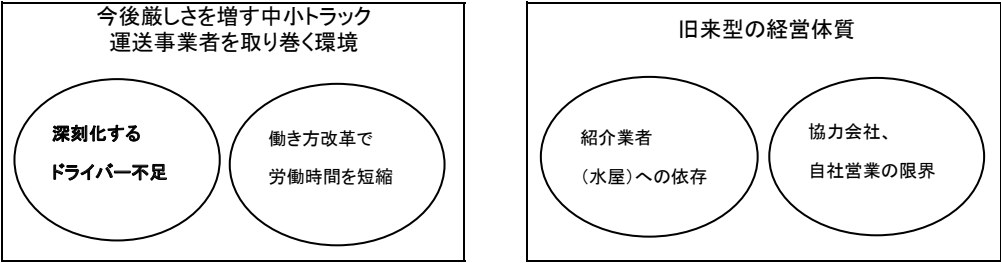
Kyodo Information of Transport

K I T (協同・情報・輸送) 事業のご案内

キット K・I・T

品質と信頼で未来につなぐ

求荷求車ネットワーク「WebKIT2」



WebKIT2

がお応えします！！

強力な経営支援ツールです！

導入効果 その1	安定的な輸送力の確保のために ・大事なお客様からの急な輸送オーダー対応 ・ネットワーク会員同士で輸送力を相互補完
導入効果 その2	安心のネットワーク取引のために ・明確な運賃 ・回収不安なし
導入効果 その3	輸送効率化のために ・配車業務のシステム化 ・配車担当者のスキル向上 ・書面化による輸送トラブル解消
導入効果 その4	輸送効率化のために ・閑散期の荷物確保と繁忙期の車両確保 ・帰り荷物確保(実車率アップ) ・余分スペースの積み合わせ(積載率アップ)

生産性の向上

取引・事業の拡大

* 運賃の集金は組合精算ですので安心です。

* 運賃の支払いは45日サイトです。

* 軽油・尿素の支払いは50日サイトです。

☆輸送

運賃＜事例＞

◎大阪(茨木市) → 埼玉(深谷市)

運賃 85,000円(税抜き)

◎大阪(住之江区) → 愛知(安城市)

運賃 43,000円(税抜き)

大型車

4トン車

☆軽油販売

エネクスフリート 軽油価格

令和元年	11月	12月
軽油	101円	103円

〈単価は日本貨物運送事業協同組合連合会

(日貨協連)の全国統一価格です。〉

☆尿素販売

アドブルー 1L=52円(2020年1月現在)

お問い合わせ

奈良県キット事業協同組合

〒639-1103 奈良県大和郡山市美濃庄町170-15

TEL 0743-58-6080 FAX 0743-58-6081

適正化事業・巡回指導報告書

奈良県貨物自動車運送適正化事業実施機関

2019年度実施状況		
実施目標件数	実施件数	実施率
220件	226件	102.7%

2019年12月実施状況			
計画件数	実施件数	実施率	巡回延出動台(日)数
26件	18件	69.2%	11台

調査事項		調査件数	指導件数	指導率
I. 事業計画等	1. 主たる事務所及び営業所の名称、位置に変更はないか。	18	0	0.0%
	2. 営業所に配置する事業用自動車の種別及び数に変更はないか。	18	0	0.0%
	3. 自動車庫の位置及び収容能力に変更はないか。	18	0	0.0%
	4. 乗務員の休憩・睡眠施設の位置、収容能力は適正か。	18	0	0.0%
	5. 乗務員の休憩・睡眠施設の保守、管理は適正か。	18	0	0.0%
	6. 届出事項に変更はないか。(役員・社員、特定貨物に係る荷主の名称変更等)	13	0	0.0%
	7. 自家用貨物自動車の違法な営業類似行為(白トラの利用等)はないか。	18	0	0.0%
	8. 名義貸し、事業の貸渡し等はないか。	18	0	0.0%
II. 帳簿類の整備、報告等	1. 事故記録が適正に記録され、保存されているか。	7	0	0.0%
	2. 自動車事故報告書を提出しているか。	0	0	0.0%
	3. 運転者台帳及び従業員台帳が適正に記入等され、保存されているか。	18	0	0.0%
	4. 車両台帳が整備され、適正に記入等されているか。	18	1	5.6%
	5. 事業報告書及び事業実績報告書を提出しているか。(本社巡回に限る)	12	6	50.0%
III. 運行管理等	1. 運行管理規程が定められているか。	18	1	5.6%
	○ 2. 運行管理者が選任され、届出されているか。	18	1	5.6%
	3. 運行管理者に所定の研修を受けさせているか。	18	6	33.3%
	4. 事業計画に従い、必要な員数の運転者を確保しているか。	18	1	5.6%
	○ 5. 過労防止を配慮し、適正に管理されているか。	18	4	22.2%
	6. 過積載による運送を行っていないか。☆	18	0	0.0%
	○ 7. 点呼の実施及びその記録、保存は適正か。	18	2	11.1%
	8. 乗務等の記録(運転日報)の作成・保存は適正か。	18	0	0.0%
	9. 運行記録計による記録及びその保存・活用は適正か。☆	15	2	13.3%
	10. 運行指示書の作成、指示、携行、保存は適正か。	1	0	0.0%
	○ 11. 乗務員に対する輸送の安全確保に必要な指導監督を行っているか。	18	4	22.2%
	○ 12. 特定の乗務員に対して特別な指導を行っているか。	17	8	47.1%
	○ 13. 特定の乗務員に対して適性診断を受けさせているか。	17	3	17.6%
IV. 車両管理等	1. 整備管理規程の制定及び整備管理業務がなされているか。	18	1	5.6%
	○ 2. 整備管理者が選任され、届出されているか。	18	2	11.1%
	3. 整備管理者に所定の研修を受けさせているか。	18	6	33.3%
	4. 日常点検基準を作成し、これに基づき点検を適正に行っているか。	18	1	5.6%
	○ 5. 定期点検及びその保存がされているか。	18	6	33.3%
V. 労基法等	1. 就業規則が制定され、届出されているか。	5	0	0.0%
	2. 36協定が締結され、届出されているか。	14	0	0.0%
	3. 労働時間、休日労働について違法性はないか。(運転時間を除く)	18	0	0.0%
	○ 4. 所要の健康診断を実施し、その記録・保存が適正にされているか。	18	7	38.9%
VI. 法定福利	1. 労災保険・雇用保険に加入しているか。	17	4	23.5%
	2. 健康保険・厚生年金保険に加入しているか。	16	4	25.0%
VII. 運輸安全管理	1. 運輸安全管理の実施は適正か。	18	2	11.1%
指導件数合計		602	72	12.0%

(注) ○…重点指導項目 ☆…霊柩は項目から除外

	A	B	C	D	E	その他	合計
通常	4 (1)件	7 (1)件	1 (1)件	3 (1)件	1 件	件	16 (4)件
新規参入	件	件	件	1 (1)件	件	件	1 (1)件
新規(他)	件	件	件	1 件	件	件	1 件
特別(労)	件	件	件	件	件	件	件
特別(他)	件	件	件	件	件	件	件
総合	4 (1)件	7 (1)件	1 (1)件	5 (2)件	1 件	件	18 (5)件

※ () は会員外の件数です

トラックの構造上の特性

2 車長と運転

② リヤ・オーバーハングが大きい

◆右左折時に接触の危険がある

トラックはリヤ・オーバーハングが大きいという特徴があります。そのため右左折時に後続車や対向車と接触することがあります（図26、27）。

右左折時はハンドルを徐々に切るとともに、右折の場合は左側のミラー、左折の場合は右側のミラーにも目を配りましょう。

図26 右折時のリヤ・オーバーハングによる事故

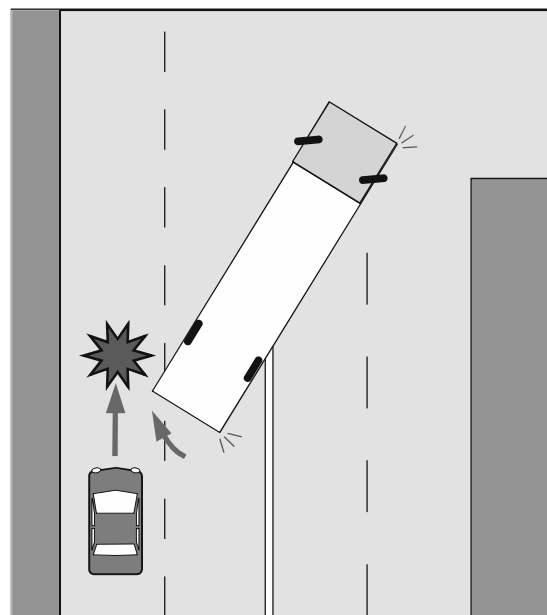
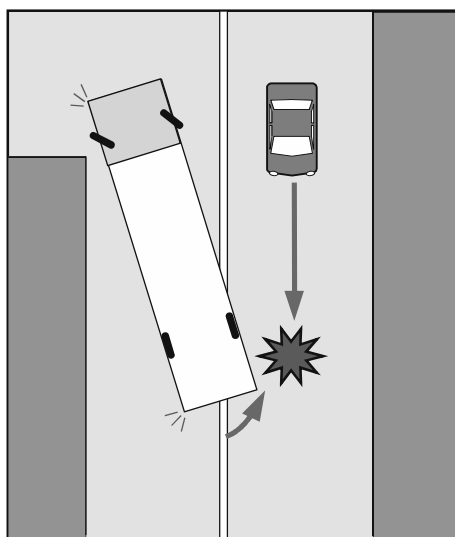
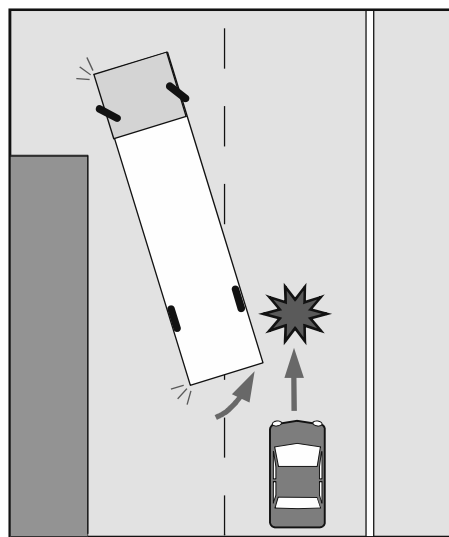


図27 左折時のリヤ・オーバーハングによる事故

片側1車線の場合は、対向車と接触する危険がある。



片側2車線の場合は、後続車と接触する危険がある。

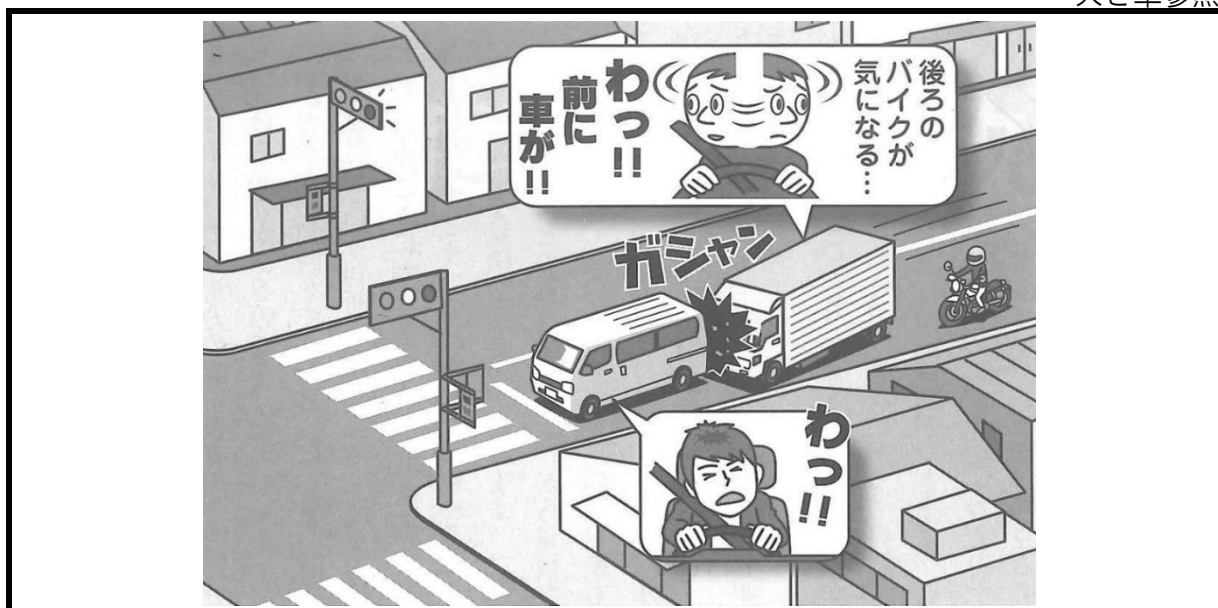


事業用自動車事故事例 No.54

普通貨物車とワンボックスの赤信号での追突事故

■事故の概況

人と車参照



事故類型：追突

当事者A：普通貨物車 40歳代 男性

当事者B：ワンボックス 20歳代 男性

■ 事故の概要

Aは、運送業務に従事している職業運転者で、いつものように制限速度内で走行する同僚のB車に追走しながら片側1車線の道路を走行していました。しばらくしてAは、バックミラーに映る二輪車の存在に気付き、見え隠れしながら追走してくる二輪車を危険ではないかとしきりに気にしていました。二輪車がバックミラーから見えなくなってふと視線を前に戻すとB車が信号で停止していて直前まで迫っていました。Aは、あわてて急ブレーキをかけ、ハンドルを左に切って回避しようとしたのですが間に合わずに追突してしまいました。追突されたB車は、赤信号で停止して数秒後には後ろでブレーキ音が生じ、その後激しい衝撃を受けました。

■ 事故から学ぶ

この事例のように流れに乗って一定速度で走行する場合には、運転中の刺激が少ないので、つい眠気を催したり、注意散漫になったりした経験は誰にもあるのではないのでしょうか。

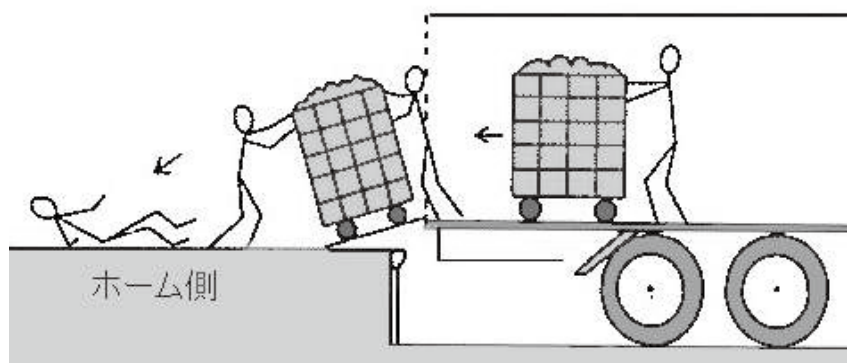
流れに乗って定速で走行する安心感から生じる余裕から、少しくらい脇見等をしては大丈夫だろうと思いがちです。しかし、「少しくらい」はちっとも「少しくらい」ではなかったりします。

Aも後続する二輪車に必要以上に注意を向けてしまい、「前方を見る」ことがおろそかになっていました。

災害事例とその対策

【事例2】ロールボックスパレットを取卸し作業中に転倒

- 1 事業の種類：一般貨物自動車運送業（事業場規模30～99人）
- 2 被災者：荷役作業者（休業）
- 3 災害発生状況
 - ① 被災者Aは、トラックターミナルの高床ホームに縦つけされた11トントラックに積まれたロールボックスパレットを取り卸す作業を行っていた。
 - ② 通常発着する4トントラックの場合は、高床ホームの高さとトラック荷台の高さ（約1,080mm）が大体同じでほとんど段差がなかったが、事故発生時は、11トントラックであったため、荷台が高く（1,450mm）、ホームと荷台の間に渡した鉄板製の渡り板は20°程度の急坂になっていた。
 - ③ 取卸し作業は、11トントラックの運転者Bとで行った。被災者Aがロールボックスパレットの前でパレットを引っ張り、Bが後ろから押して荷台後部まで運んできたが、荷が渡り板に乗ったところで傾斜が急なため、転がりだそうとした。このため、AとBが転がりださないように支えながら、ホーム上に卸そうとしたが、Aが足を滑らして転倒したものである。
- 4 災害発生原因
 - （1）ホームの高さが大型トラック用でないため渡り板が急坂のまま作業した。
 - （2）ロールボックスパレットを引く姿勢が悪かった。
 - （3）保護帽を着用していなかった。
- 5 再発防止対策
 - （1）ホームの高さを大型車用に改善するか、渡り板の長さを長くして、スロープを緩やかにする。
 - （2）ロールボックスパレットを動かすときは、必ず押すこと。この作業でも、2人が荷台の中から押し、傾斜では加速がつかないように、2人で支えるように作業する。
 - （3）作業手順書を作成し、正しい作業方法を定め、関係者に徹底する。
 - （4）保護帽を着用させる。



（厚生労働省「職場のあんぜんサイト」より）

奈良県警察本部からのお知らせ

1 令和2年の県内交通事故発生状況

1月15日現在

区 分	令和2年	令和元年	増減数	備 考
総件数	1,437 件	1,453 件	-16 件	1日に約 96 件
人身事故件数	115 件	118 件	-3 件	1日に約 8 件
死者数	0 人	1 人	-1 人	
負傷者数	149 人	145 人	4 人	1日に約 10人
物損事故件数	1,322 件	1,335 件	-13 件	1日に約 88件

(データは概数)

2 令和元年中の交通死亡事故の特徴(概数)

(1) 令和元年中の交通事故発生状況

令和元年中の交通事故							
人身	前年比	死者	前年比	傷者	前年比	物件	前年比
3,330 件	-686 件 (-17.1%)	34 人	-11 人 (-24.4%)	4,140 人	-873 人 (-17.4%)	37,574 件	-1,676 件 (-4.3%)

(2) 令和元年中の交通死亡事故発生状況と特徴

人対車両 (件)				
事故類型	R1	H30	増減	
対背面通行	0	1	-1	
横断 歩道上	4	3	1	
中 歩道等付近	2	3	-1	
その他	3	4	-1	
その他	1	1	0	
小 計	10	12	-2	

・ 人対車両による死者は 10人

車両相互 (件)				
事故類型	R1	H30	増減	
正面衝突	4	1	3	
追 突	0	5	-5	
出会い頭	5	5	0	
右・左折時	3	1	2	
追越・追抜き	0	0	0	
すれ違い	0	0	0	
その他	0	2	-2	
小 計	12	14	-2	

・ 車両相互による死者は12人

車両単独 (件)				
事故類型	R1	H30	増減	
工作物衝突	4	5	-1	
駐車車両衝突	2	0	2	
路外逸脱	4	6	-2	
転倒	2	0	2	
その他	0	0	0	
小 計	12	11	1	

・ 車両単独による死者は 12人

死者34人中、高齢者は22人

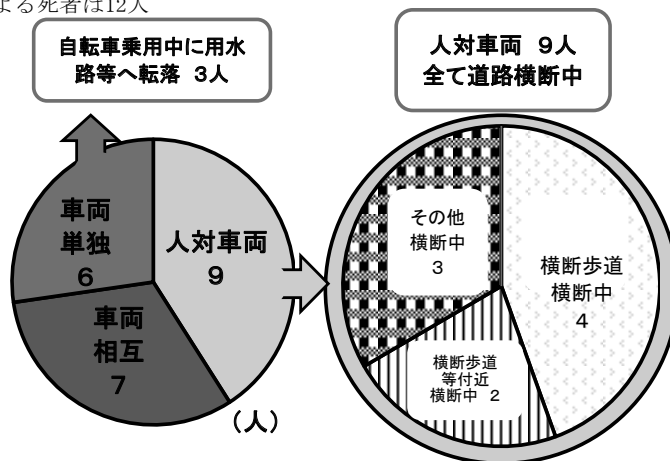
22人中9人が、歩行者

9人全て、道路横断中

横断中の内5人が、横断歩道でない場所を横断中

4人が横断歩道を横断中

また、4人が自転車乗車中



3 マナーアップ大和路2020

交通安全「やまとじ」の実践

や 夜間に目立つ反射材、前照灯の早め点灯と上向き点灯
 ま 待った、飲酒運転。ハンドルキーパーで安全・安心
 と 止まってゆずろう、横断歩道は歩行者優先
 じ 自転車は車の仲間、ルールを守って安全運転



奈良県自転車の安全で
適正な利用の促進に関する条例



自転車条例について
詳しくはこちら

奈良県 自転車条例

令和2年4月1日から

自転車保険に加入しましょう

ヘルメットを着用しましょう

(65歳以上の高齢者は努力義務)



奈良県・奈良県トラック協会

小学生からのお礼状

日時：令和2年1月20日(月) 午前11時～
場所：五條市自治連合会館（五條市本町3丁目）



▲壁に張り出したお礼状と、届いたお礼状を持つ丸山支部長（左）と堀内教育長

交通安全は家庭から

奈良県トラック協会・五條支部（支部長・丸山泰登美）は昨年11月29日、五條市教育委員会宛てに交通安全啓発品の「ヨコミエライト」を寄贈。市内の小中学生全員に配布され、受取った小学生から、早々に「安全に歩くことができます」などと書かれたお礼状が、奈良県トラック協会五條支部に届けられました。協会や支部では日頃から地域における交通安全・事故防止のための活動をしているが、

お礼状が届いたのは初めてで、五條市教育委員会の堀内伸起教育長と丸山支部長が喜びの報告をしました。

堀内教育長は「ライトをもらって一人一人が自分たちの安全を守っていくんやという意識を育てることができれば嬉しい」と述べ、丸山支部長は「日頃大きなトラックで道路を走っており、地域のみなさんにご迷惑をおかけしているので、何かでお返ししたいという思いがあって

寄贈した。こうしたお手紙を頂いたのは初めてでやりがいを感じる。活用していただきたい」と話していました。



▲寄贈されたヨコミエライト

トラック奈良 2020 年2月 第310号

発行 公益社団法人 奈良県トラック協会

奈良県大和郡山市額田部北町 981 番地の 6 編集発行人 塚本哲夫
TEL.0743-23-1200 (代) FAX.0743-23-1212 編集委員長 竹長至暁

**荷役5大災害の防止対策
を徹底しましょう！**

- ①荷台等からの墜落・転落
- ②荷台等での荷崩れ
- ③フォークリフト使用時
- ④トラックの無人暴走
- ⑤トラック後退時